

<学校名> 熊谷市立佐谷田小学校  
<所在地> 熊谷市佐谷田1030番地  
<電話> 048-521-0783  
<本事例の特徴>

本校は、外国籍の子どもは在籍していない。そのため、外国語(英語)の学習の必要性は感じているものの、実用性の実感や諸外国に関する理解が十分ではない実態がある。全校で行われた道徳の実態調査アンケートでは、国際理解・国際親善の項目は他の価値項目に比べて低い数値を示していた。このような環境下にある児童に対して、道徳科と関連させた国際理解教育の取組について紹介する。

### <具体的な取組や成果>

#### ○校内掲示の工夫「～アジアの子どもたちの絵日記集～」

- ・三菱アジア子ども絵日記フェスタの受賞作品を集めたレプリカパネルの無償貸出を利用し、昇降口や廊下など児童の目に触れる場所に展示した。絵日記を通して、アジア各国々の・地域の生活の様子などを知り、多文化理解を深めることができた。

#### ○児童の感想より (一部)



#### 【低学年】

- ・日ほんにはないもじがあっておもしろかった。
- ・ぼくもドラゴンレースをみてみたい。
- ・みたこともないたべものがあった。たべてみたい。
- ・みたことのないようふくだった。



#### 【高学年】

- ・モンゴル国の子どもたちも夏休みがあることを知った。どんな夏休みを過ごすのか気になった。
- ・文字の形がおもしろい。
- ・あいさつを大切にすることが絵から伝わってきた。あいさつは世界共通だと思った。
- ・身近に感じるようになった。
- ・他にもいろいろな国について知りたいと思った。

- 児童の年齢に近いアジアの子どもたちの絵日記を展示することで、児童が日本以外の国々の文化にも関心をもち、それらを身近に感じていた。また、上手な絵や文字の違い、日本と共通する文化に気付くことで、「さらに調べてみたい」という学習意欲につながっていた。
- また、貸出期間を授業参観日に重なるようにしたことで、保護者の方々にも様々な国の文化や習慣に触れていただくことができた。